

議会が動き

「高齢者交通助成金4割削減 難病患者への見舞金廃止」計画を

撤回させました！



上田さち子ニュース（2月22日号）でお知らせしていた、70歳以上のすべての市民に支給されている「高齢者交通助成金（割引証）」を5000円分から30000円分に削減する予算が提案されましたが、これを撤回させることができました。
日本共産党市議団が本会議

日本共産党

上田さち子です



2015. 3. 22号

（発行）

日本共産党市会議員

上田さち子

川添町五・十八

電・三五二八二三

代表質問で取り上げ、その後予算審議の中で「削減せず、従来通り5000円支給する」という修正案が全会一致で採択されたのです。
あわせて、難病患者の方々に、年・2万円の見舞金廃止の提案も撤回させることになりました。

住民の声で市政は動きまます

今回の予算修正の背景には、今村市長の行政姿勢への反発があります。
2月25日号の「市政ニュース」には、2015年度の予算概要を掲載されましたが、市民に耳触りの良いことのオンパレード。ここに

は、高齢者交通助成金の4割削減など、市民に痛みを押し付けることにはだんまりを決め込む…というやり方への批判が集中したのです。
市民のみなさんの声が大きくなれば、政治を動かすことができる！と実感しました。

「住民こそ主人公」の市政へ動く「議会」が期待されます



西宮市議会本会議場

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

今村市長のやり方「おかしい！」と 二つの「決議案」が採択されました

今村市長が、UR借り上げ市住入居者追い出し問題を特集したテレビ放映をとらえ「偏向報道」と決めつけて「今後は、市のテレビ取材については、市広報課が横でビデオ撮影して証拠をとる」と発表

共産党市議団が「偏向報道対

応の撤回」を求めています
が、予算審議の中でも大論議となりました。

「マスコミ対応で問題があるなら、市として抗議なり訂

報道で公平・公正さがなければ済むことだ

正を申し入れればよい」「取材中のテレビ局を市の広報課がビデオでとる必要はない」と、各議員から批判続出。

市民の肖像権まで侵害する市広報課による「ビデオ撮影やめよ！」



私は総務分科会で「偏向報道」問題を質疑。特に市広報課がビデオ撮影した中に、市職員への取材では

ないのに、第三者を撮影していたことを明らかにして追及。ビデオ記録が公文書として公開対象になることから、「第三者である市民の肖像権まで侵害するようなビデオ撮影は直ちにやめよ」と求めました。このような質疑を通じ、「ビデオ撮影やめよ」の決議に発展。

この件では最終日「ビデオ撮影やめよ！」の議会としての決議を全会一致で採択。

さらに、1面でも紹介した高齢者交通助成金削減や、難病患者見舞金廃止の報道を、市長は故意にしなかったことから「市政ニュース等の広報は適正に」とする決議も採択されました。

ぼくも私も、もうすぐ1年生！

3月13日は市内の保育所で一斉に「卒所式」が行われました。6年間、雨の日も雪の日も送迎でがんばった父兄のみなさんの思いもひとしおでしょう。

さあー今度は入学式。新1年生、がんばれ！



3月議会は19日に閉会しました。市行政のチェック機関としての市議会の役割が大いに発揮されました。引き続き、住民目線に立ち、住民こそ主人公の市政へ全力でがんばります。